

P T A活動実践事例

令和4年度さいたま市優良P T A団体表彰受賞団体

◎ 文部科学大臣表彰受賞団体

※ 学校番号順

・さいたま市立善前小学校P T A「みどりの会」 ◎

会長名等	活動内容・特色ある取組など
<p>・ P T A会長 おおしもともひろ 大霜 友弘</p> <p>・ 校長 しみずけいじ 清水 恵二</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 地域の各団体と連携し、児童・未就学児・地域の方々を対象とした、P T A主催の「松の子まつり」を開催している。また、全家庭協力のもと、ベルマーク活動を実施し、大きな成果を挙げ、学校への還元を行っている。そして、毎年、隣接している中学校と合同で資源回収を行い社会貢献している。・ 全保護者を対象にオリジナルのパトロールプレートの配布や夜間パトロールを実施するなど、地域の防犯向上に寄与している。また、平成26年度に作成した「子ども安全マップ」やパトロールだよりを定期的に配布し、子どもとともに交通安全や防犯に対する意識を高めている。・ P T Aの専門委員会である「成人教育委員会」では、保護者向けによりよい家庭教育につながる講座を開催したり、「お父さんの会」では、防災デイキャンプ等、様々な体験の場を提供するなど、学校・P T A・地域が協力し、各種イベントや活動を通して、互いに親睦を図っている。

・さいたま市立大谷小学校保護者と教職員の会 ◎

会長名等	活動内容・特色ある取組など
<ul style="list-style-type: none"> ・ P T A 会長 まつなが あきひろ 松永 明大 ・ 校長 たかさき よしかず 高崎 芳和 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての世帯が P T A に加入し、良好な運営を行っている。コロナにより保護者が学校に来ることができる機会が減っていることも考慮し、学校主催、P T A 主催の行事の際には、広くボランティアを募って、多くの保護者が参加できる環境を整えた。 ・ 防犯交通安全ボランティアによる登下校時の見守り活動、図書ボランティアによる図書館の環境整備や読み聞かせ、チャレンジスクールスタッフによる体験活動のサポート等、様々なボランティアの方と連携して教育活動を進めている。 ・ コロナにより入学式・卒業式が縮小開催となったため、P T A による学校内外の装飾を行うなど、児童の気持ちを盛り上げる活動を行った。 ・ 自粛生活における体力低下防止のために、広報紙において、「親子で体力アップキャンペーン」を2回に亘り掲載し、家庭で楽しく取り組める運動を紹介した。 ・ 学校運営協議会の方針を受け、「声かけタイ」「おめでとうシール」「あいさつ力アップキャンペーン」に継続して取り組んでいる。特に「あいさつ力アップキャンペーン」の実施に当たっては、日々の進捗度やプロセスが分かるようフローチャート様式を使用し、コミュニケーションの有用性を意識させる一つの機会として取り組んだ。

・さいたま市立上大久保中学校 P T A

会長名等	活動内容・特色ある取組など
<ul style="list-style-type: none"> ・ P T A 会長 たざわ たかし 田澤 崇 ・ 校長 けんもつ ゆきひこ 監物 幸彦 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者と教職員が連携し活動できるよう、対面だけでなく非対面でも連絡を取り合い、コロナ禍においても対応できるよう運営・活動している。 ・ 開かれた P T A 活動の推進に向け、保護者の視点で情報発信・共有できるよう運営委員会だよりの作成・配布などを行い、保護者の理解と協力が得られるよう努めた。 ・ 防犯ボランティアの方々と協力し、登下校の見守りだけでなく、「ながら見守り」を行い、子どもたちの安全確保に努めている。また、あいさつ運動を強化し取り組んでいる。 ・ 学校・P T A・地域が連携協力し、恒例行事ができない状況であったものの、キャンプファイヤー、熱気球搭乗体験教室、交通安全講習、農業体験教室など、普段できない体験や活動を実施することができ、子ども・保護者・教職員・地域の方々との親睦を深めることができた。

・さいたま市立片柳中学校PTA

会長名等	活動内容・特色ある取組など
<ul style="list-style-type: none"> ・PTA会長 こいち ともみ 古市 智美 ・校長 かとう あきよし 加藤 明良 	<ul style="list-style-type: none"> ・「PTA室を持ち歩こう」を合言葉に、スマートフォンのアプリを使って、連絡手段にSNSを活用することやグループウェアで情報共有するなど、ICTを取り入れ、効率化を進めている。 ・自治会・その他地域の諸団体と協力し、資源回収ステーションの運営や登下校時の立哨指導などを実施するとともに、笑顔をつなぐ動画制作プロジェクトを実施した。また、子ども会、地元企業、大学とも各種事業で連携・協力を図っている。 ・資源回収活動を行い、その収益を活用して感染拡大防止対策のための消毒用アルコールなどを購入した。 ・コロナ禍における放課後チャレンジスクールのオンライン演劇レッスンに協力し、舞台上「声で表そう発表会」を開催した。 ・SDGsの一環として、6年生児童を対象に体育館で観世流能楽師による日本の伝統文化体験学習を行った。

・さいたま市立第二東中学校PTA

会長名等	活動内容・特色ある取組など
<ul style="list-style-type: none"> ・PTA会長 あらかわ こ 荒川 ゆり子 ・校長 はるやま さとる 春山 悟 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動の簡素化と透明性を図るために、広報誌やPTA通信、メール配信を積極的に活用した。活動の告知等をグループウェアの活用により全体の意思統一を簡略化させ、負担感のない分散化を行った。また、会計管理のスリム化を目的に、アナログ管理からデジタル管理とするなどDXを推進した。 ・修学旅行が中止になった3年生のために、思い出づくりの1つとして学校と相談の上、落語家を招いて上中落語を開催した。 ・生徒の環境整備として、AED・災害用備蓄水の導入や、コロナ対策として、校内全手洗い場にPTA物品のハンドソープを設置した。 ・消毒、校内清掃を行う教職員の負担を軽減し、少しでも教育活動に専念してもらうため、PTA会員からボランティアを募り消毒清掃活動を実施した。 ・生徒の登校時に保護者が校門前に立ち、教職員と共に挨拶を交わす「おはよう運動」を毎日行っている。